

新航路・My フライトプロジェクト

岡山県立岡山芳泉高等学校 高大接続推進委員会

活動の目的

異世代を含む異文化との共生がますます加速する社会において、それらと自分の関係を見つめ、自分を含めた将来の世代への展望を持って現代の諸課題に対し平和的に解決する思考力、判断力、表現力、実践力を持つ生徒の育成

活動の内容及び経過

- ・ 国際バカロレアのTOKなどのワークショップへ教員が参加した。
- ・ 国際バカロレアの教育システムを「総合的な学習の時間」に導入し、「総合的な学習の時間のカリキュラムデザイン」を行った。
- ・ 1年次生「総合的な学習の時間」でロジカルシンキング、クリティカルシンキングの授業をTOKの技法を用いて10時間行った。
- ・ 1年次生の教科授業で主体的な学びを展開させる実践的研究として20時間行った。
- ・ 国際バカロレアのTOKワークショップに参加した教員による希望者対象のTOK特別講座を8時間行った。岡山大学田原教授、森岡准教授から指導助言をいただいた。
- ・ 生徒希望者がIBDP校である英数学館を訪問し、「本校生徒対象TOK特別授業」を受講、英数学館の「TOK授業」の授業見学を行った。後日、「TOK講座」受講の報告会を本校「TOK講座」受講者対象に行った。
- ・ 国際バカロレアのTOKのワークショップに参加した教員によるTOKを導入した国語の研究授業が行われた。
- ・ 岡山大学と連携協力による対話型学習の研究を推進するために、岡山大学教育学部桑原教授の協力を得て、生徒希望者対象に「ティーチイン芳泉」を2回開催した。
- ・ 国際バカロレアの理念に準じて、異文化との共生を目的として、生徒希望者対象に、岡山大学トム・ファースト准教授を招いて英語をツールにした「異文化理解講座」を行った。

活動の成果・効果

- ・ 国際バカロレアの教育システムを導入し「総合的な学習の時間」でロジカルシンキング、クリティカルシンキング、TOKの授業を行ったことで、生徒たちが問いを立て考えを深めたプレゼンテーションを行えるようになった。また、国際バカロレアのTOKなどのワークショップに参加した教員が、研修した内容を活用した教科授業を展開したので、生徒がグローバルな視点やルーブリック評価、クリティカルリーディングができるようになった。
- ・ 希望する生徒を対象にTOK特別講座を開講したり、



IBDP校である英数学館を訪問したりしたことで、生徒の興味が喚起され、TOKのプレゼンテーションをすることができるようになった。

- ・ 国際バカロレアの教育システムを活用し、岡山大学と連携協力による対話型学習の研究を推進して、生徒希望者対象に「ティーチイン芳泉」を2回開催したことで、生徒が主体的な学びを意識して活動できるようになった。また、同様に、異文化との共生を目的として、生徒希望者対象に、英語をツールにした「異文化理解講座」を行ったことで、生徒がグローバルな視点が持てるようになった。

今後の課題と問題点

1年次「総合的な学習の時間」で実践しているが、2年次でより発展した内容にするために、教員の指導体制を充実させる必要がある。また、教科の授業への導入のためにも、教員研修が必要である。

- 代表者：原田康晃 ●所在地：岡山市南区芳泉
- TEL：086-264-2801 ●E-MAIL：infohosen@pref.okayama.jp
- URL：http://www.hosen.okayama-c.ed.jp/
- メンバー数：70名